鳥取縣管内地誌

鳥取縣教育會編纂

完

291.7
To20
資料室

30066
教科書文庫
3
290
32-1895
20000
18440
M28
1895

明治日本年号三月廿七日
文部省檢定濟
291.7
T020

鳥取縣私立教育會編纂

鳥取縣管内地誌

清音堂藏
大學圖書之印
18440

鳥取縣管内地誌序

地誌之不可不講也世既有定論是以近時其顯于世者如萬國地誌如本邦地誌如府縣地誌其成浩瀚巨帙者不啻汗牛充棟也而如我因伯地誌亦曾有一二之著而行焉要之皆成於島根縣治之時而經其沿革者待其更正者

不一而足矣曩鳥取縣私立教育會有所見乃使委員膺編纂之業而其所用以專在小學科業約繁省冗唯舉其梗概耳而今告其成題曰鳥取縣管内地誌余適在會長之任録一言以弁諸卷首

癸巳中秋之夕識於好静書屋

橘堂 梶川正温

廣島大學圖書之印

鳥取縣管内地誌

第一章 鳥取縣

第一課 位置

鳥取縣は、山陰道の中央にあり因幡、伯耆の二國を管す。東は但馬、南は播磨、美作、及備中備後に隣り、西は出雲に接し、北は一帯日本海に面す

第二課 區劃及戸數人口

管内を大別して一市十四郡とし、又郡を小別して四町二百三十三村とす。戸數七万八千八百餘人口四十万七千四百餘なり（廿六年十二月末現在）

第三課　地勢及廣袤

南境は山岳相重り、土地概ね瘠せて、人口も亦少けれども、北方は地勢稍平坦にして、土地肥え隨て人口多し、海邊は沙漠一帶遠く亙り港灣少し。管内幅員一百五十一方里にして、平野は其五分の一に止る。耕地反別四万六千七百餘町なり

第四課　沿革

寛永年間池田氏此地を領せしより、鳥取を以て本城となせしが、明治維新の際鳥取藩を改め鳥取縣と稱し、尋て隱岐國を兼治す、同九年嶋根縣に合併し、同十四年又因伯二州を割て鳥取縣を再置せり。軍鎮は第四師團第四師管に屬す

第二章　因幡國

第一課　位置及諸郡村

東は但馬、西は伯耆に隣り、東南の一隅僅に播磨に接し、西南は美作に境し、北は一帶海に面す。國中を分て鳥取市、及邑美法美、岩井、八上、八東智頭、高草、氣多の八郡とし、又郡を小別して、百二村とし、一市役所、三郡役所を置きて之を管す

第二課　地勢廣袤及人口

本國は、東西十三里、南北十一里殆んど方形にして三面は山岳を以て之を圍む、國中亦丘陵相連りて道路惡かりしが、明治十八年大に之を改修せしを以て、今は行通便なるに至れり。海濱は、一帶沙漠多く、國中平野の最も多きは只邑美高草の二郡なるのみ。河流は概ね短く、千代川を除く外十里を超ゆるものなし。耕地反別一万八千九百餘町、人口十八万八百餘人あり。

第三課　港灣

賀露港の圖

海岸は、一帶に屈曲少く、良港甚だ稀なり

賀露港は、高草郡千代川の河口にあり、東西三町南北一町、島嶋其前に當る、港内水淺く且つ風濤の患あるを以て碇泊に便ならず、近時島嶋に達する突堤を築き以て船舶の出入稍便利なるに

至れり

田後灣は、岩井郡にあり、東西六町四七間、南北二町あり、港口二方に開き、一は東に、一は西に向ふ、深さ三丈餘あり。網代灣も亦同郡にありて田後の西に當る、港口西に向ひ深さ二丈あり、孰れも港内隘まし

第四課　山川

扇山は、法美郡にあり、八東、但馬に跨る高山なり。宇倍山は、同郡の西北にあり、山脈東西に亙ること數里、其頂上は高原をなせり

豹山は、八東郡にありて但馬に跨る、七味に超ある間道あり

菅山は、同郡にあり、豹山に次ぐ高峰なり

人坂峠は、智頭郡にあり、俗に駒歸坂と云ふ、美作に跨りて鳥取より山陽道に出る縣道なり

那岐山は、同郡土師谷の極南に峙ち、作州津山に出る水道あり

三國山は、美作、伯耆に跨り、本國第一の高山なり。

鷲峰山は、氣多郡の西南隅に聳ゆる高山にして、山脈高草郡に連れり

千代川は、源を八坂峠に發し、北流して諸川を合せ、湖山の池水を容れ海に入る、水國の大河なり。八東川は、一名を若櫻川と云ふ、西北流して諸川を合し千代川に入る

袋川は、源を雨瀧に發し、西北に向ひ鳥取市街を貫流し千代川に入る、其上流を國府川と云ふ。

鳥取市輸出入の貨物は、重に此水に依れり

岩本川は、源を岩井郡浦生谷に發し、小川を合して大岩村（大字岩本）より海に入る

第五課　瀑布池沼及温泉

雨瀧の圖

法美郡大茅村（大字茅）に巨瀑あり雨瀧と云ふ、高サ二丈、幅一間景色特に佳なり。又其近傍に布引瀑、箱瀑あり共に袋川に注ぐ。横瀑は八上郡明治村（大字）にあり、高二十丈幅一間。又不動瀑あり、横瀑より稍低く幅一間半、共に曳田川に注ぐ

湖山池は、高草郡湖山村にあり、周囲三里二十六

湖山池の圖

町東西三十二町、南北二十二町、池中に五小嶋あり、青嶋最も大なり、池水東北流して賀露川に入る。其他邑美に多禰岩井に湯山、細川、氣多に興澤見、日光等の小池あり岩井郡に岩井の温泉高草郡に吉岡の温泉あり、共に諸病に効あり、氣多郡正條村（大字見村字）磨の温泉は此頃稍其温度を減じ、

鳥取市街の圖

泉脈別れて更に同村の北（大字）に湧出す　又八上郡明治村（大字）に鹹泉あり

第六課　都邑

鳥取市は本縣の大都會にして七十町三四村よりなれり、戶數六千六百餘、人口二万八千九百餘あり、市街繁榮百貨輻輳

し、縣廳、裁判所、警察署、郡役所、市役所、師範學校、中學校、各小學校、幼稚園、病院、銀行、諸會社等、結構壯麗なり

鹿野は、氣多郡鷲峰山の北麓にあり、郡中の名邑なり

青谷、及寶水は共に沿海にあり、西道往來の驛路に當るを以て鹿野に次き氣多郡の名邑なり

岩井及浦富は、共に岩井郡の名邑なり、岩井には温泉あるを以て、人家稠く浴客多し

用瀬及智頭は、共に智頭郡にあり、山陽道に出る驛次に當るを以て繁盛なり

若櫻は、八東郡の中央にあり、播磨に出る路に當り、山間の名邑なり

第七課　氣候及物産

本國は、三方山脈にて圍まれ、一面海に瀕し、極寒三十度、極暑九十度に至り、冬時は雨雪多し

物産は、米穀を最とし、之に次ぐものは八東及智頭の杉材著名なり、其他邑美に藍、生絲、絹布、桃、久松山松、蕈、圓護寺石。法美に楮、三椏、蠟、薪、炭。岩井に銅、陸上鹽、鰈、蟹、鯣、白珊瑚。高草に紙、蘿蔔、椀、

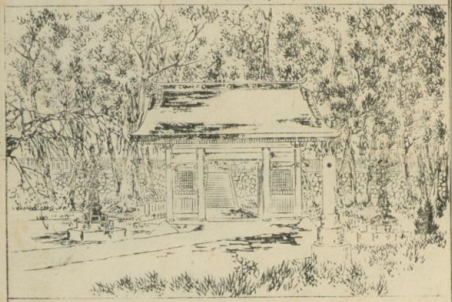
甘藷、鯉、鮒。氣多に鹿野菅笠、青谷和布、水綿、生絲、挽物、魚類、紙、蠟。八上に楮、紙、麻、生絲、陶器、河原鮎。八東に烟草、漆、龍席、麻、苧、藍、石灰、諸鹿石。智頭に麻、苧、杉、森、葛粉、紙、漆、鑄物、花崗石等あり

第八課　社寺及古跡

宇倍神社は法美郡國府村（下大村字宮）にあり國幣中社にして武内宿禰を祀る、大化四年の創立なり。樗谿神社は鳥取市上町にあり、徳川家康、池田忠繼、池田慶徳等の諸靈を合祀す、殿宇壯嚴なり

招魂社は鳥取市西町にあり、戊辰の役國事に斃

樗谿神社の圖



れたる人を合祀す

清源寺は法美郡國府村（大字奥谷）にあり、舊藩主池田氏累世の墳墓あり。

法美郡御陵村（大字岡益）に古墳あり、傳へ云ふ安徳天皇の陵なりと。

摩尼寺は邑美郡摩尼山にあり、帝釋を安す

大安興寺は、智頭郡大村

鳥取城の圖

（大字特村）にあり、大化五年の創立にかゝり古物を藏す

鳥取城趾は、鳥取市の北境久松山にあり、池田氏の居城にして今尚石壘外隍を存す

八東郡池田村（大字屋堂岩村）に一大石窟あり、内に小堂を安す。又法美郡國府村に國分寺（大字國分寺村）及法華寺（大字法華寺村）等の遺跡あり

鹿野城址は、氣多郡鹿野村にあり

布施城址は、高草郡松保村（大字布勢村）にあり

若櫻城址は、八東郡若櫻村（大字若櫻宿）にあり

郡市面積

郡市名	面積（方里分厘）
鳥取市	四七
邑美郡	一、六四
法美郡	五、三〇
岩井郡	五、二六
智頭郡	七、九五
八上郡	五、〇六
八東郡	一五、六一
高草郡	六、〇八
氣多郡	七、二二

郡市區畫

郡市名	郡市役所ノ在地
鳥取市	鳥取市西町
邑美郡	鳥取市東町
法美郡	
岩井郡	
八上郡	八上郡賀茂村
八東郡	大字郡家村
智頭郡	
高草郡	高草郡吉岡村
氣多郡	大字吉岡村

鳥取ヨリ各邑ニ至ル里程

邑名	里程（里丁間）
鹿野	四、二、三一
實木	四、二六、三六
濱村	五、一五〇〇
青谷	七、一五、三六
岩井	五、一五、三七
浦富	四、三三、〇〇
用ヶ瀬	五、一三、三七
智頭	八、四三、七
若櫻	七、一五、五三

海面ヨリノ高サ

山名	山ノ高
豹ノ山	二、八八〇尺
菅ノ山	二、八八〇
那岐山	五、七六〇
三國ヶ山	六、一二〇
鷲峰山	二、八八〇
人坂峠	？
宇倍山	？

河川ノ長サ

河名	河ノ長（里丁）
千代川	一二、〇〇
八東川	八、〇〇
袋川	六、〇〇
蒲生川	三、一八

第三章　伯耆國

第一課　位置及諸郡村

東は因幡、西は出雲、南は美作、備中、備後の三國に接し、北は海に沿ひ、河村、久米、八橋、汗入、會見、日野の六郡より成れり、之を小別して、四町百三十一村とし三郡役所を置きて之を管す

第二課　地勢廣袤及人口

本國は東西二十三里、南北十三里、地形恰も菌の如し、國中山多くして、海岸諸川の近傍及ひ會見郡の西北に稍廣き原野あるのみ、耕地反別二万

七千八百餘町、人口二十二万六千六百餘あり

第三課　港灣

海岸は出入小く、只汗入より以西は漸く凹入し、會見に至り斗出して夜見ヶ濱の砂嘴となる。

海上には返岩、和田礁等あり

境港は夜見ヶ濱の北端にあり、東西十八町、南北四町港内、浪穏に、水深く、大船巨舶、直ちに岸に繫ぐべく、山陰道第一の良港なり、五十年前には、僅に三百戸に過ぎざりしが今は千餘戸に至れり。

米子港は、中海の東隅にある佳港にして東西二

夜見ヶ濱の圖

十町、南北三十三町四十間深一丈餘あり、出雲の安來に到る海程一里、松江を距る六里、船舶の往來常に絶えず

其他泊、橋津、赤崎、松ヶ谷、御來屋、淀江等の諸港あり、皆港内狹くして淺く、以て大船を泊するに足らず

第四課　山川

山の最も高きものを大山とす、大山は本名を大神山と云ふ、汗入郡大山村にあり、山腹に大神山神社の奥宮及大山寺あり古昔は噴火せしことありしと云ふ又其麓には原野多し

松上山の圖

松上山は八橋郡の西南境にあり、元弘中、名和長年の後醍醐天皇を此に奉じたるを以て其名高し、其他勝田ヶ山、矢筈ヶ山、兜ヶ山等あり

河村郡に美徳山あり、山中奇勝多し、山腹に巨刹あり、三佛寺と云ふ、其他鈴伏山、三國山、人形山等あり

久米郡に蛭山あり、其嶺三分し、上中下蛭山の稱あり、東麓に嶮坂あり、關金より美作に出る驛路なり

日野郡に三平山あり、其脈南に亙りて四十曲の嶮坂となる、此坂は板井原より岡山縣に出つる

驛路なり

船通山は、出雲に跨る高山にして、山上に巨大なる栂樹あり、其他大倉山の高峰ありて地に鐵鑛を産す

日野川は、源を日野郡の山間より發し、印賀、小原、石見の諸川を合せ、郡の中央を東流すること八里餘根雨に至り根雨川を合せ、更に西北流して二部川に會し、會見郡に入り、水勢彌大きなり、尻焼川と會し、福生（ふくしょう）、日吉津（ひよつ）二村の間より海に注ぐ、上流の諸村盛に鐵砂を洗ふを以て、河口遠く砂洲を生せり、國中第一の大河なり。

天神川は、上流を竹田川と云ふ、河村郡の南境より發し、北流して久米郡に入り、小鴨川と會し、名を天神川と改め、東北に流れて長瀬村の西より海に注ぐ

八橋郡の由良川、加勢蛇川、洗川、勝田川、甲川、汗入郡の阿彌陀川、會見郡の佐陀川は中部の大川にして、皆北流して海に入る

第五課　瀑布池沼及温泉

瀑布は、千丈瀧を最とす、其高さ四十丈、幅五尺、船

東郷池の圖

上山に懸り、八人、枝の二瀑布は竹田川の上流に懸れり

東郷池は、河村郡にあり、周囲二里十町、池中に温泉湧き出づ、引地の湯といふ美德鉢伏、羽衣石の諸山、水に映ず、風色絶佳なり池水北に流れて橋津川となり海に注ぐ、産

する所の鰻最も有名なり

障池は、東郷の東北三橋村(厥村字)にあり、赤松池は、大山の麓大山村(厥村字赤)にあり、共に周囲一里に過ぎず

河村郡三朝の湯山田の湯は共に三朝村にあり三朝川を隔て、其南北に位す　久米郡湯關の湯は矢送村にあり

第六課　都邑

米子町は、鳥取を距る二十五里、國の要衝に當れり、戸數二千五百餘、人口一万三千三百餘、郡役所

米子町圖

あり、汗入、會見兩郡を管す、區裁判所、郵便電信局、警察署、監獄署、支病院等あり、水陸交通の便あるを以て、市街頗る殷賑なり

倉吉町は、久米郡にあり、竹田、小鴨二川の間に夾まり、打吹山其南に兀立す、昔山名師義の據りし

所たり、戸數一千八百餘、人口七千九百餘、郡役所あり、久米、河村、八橋の三郡を管す、區裁判所、郵便電信局、諸工場あり、工業甚だ盛なり、又其西北の社村に農學校あり

境町は、米子町を去る四里餘、夜見ヶ濱の北端にありて、郵便電信局、測候所等あり

淀江町は、瓦山の西北にあり、御來屋は名和川の口東にあり、相距る二里許、共に汗入郡の名邑なり

赤崎八橋、田良の諸村は、共に八橋郡の名邑なり、

長瀬橋津泊の三村は、河村郡にあり、此中赤崎村、泊村は、漁獵あるを以て、橋津村は、河村、久米両郡の糶場たるを以て、共に稍繁華なりとす

第七課　氣候及物産

本國は、南方山を負ひ、北方海に面し、極寒二十七八度、極暑九十二三度に至る

物産は、米穀を主とし、之に次くものは、日野の鐵、會見の綿等著名なり、其他河村郡に、菅笠、美德山葵、東郷鰻、久米郡に生絲、木綿、繕倉吉稻扱、八橋郡に、船上無名異、菜種藍、赤崎燒鯛、八橋素麺、干温飩、汗入郡に、木綿、淀江干瓢、御來屋干温飩、素麺、會見郡に、木綿、人參、藍、甘藷、境鱸、赤貝、日野郡に印賀鋼、麻、扱苧、烟草、紫石英、白石英、諸木材等あり

第八課　社寺及古蹟

名和神社は、名和村にあり別格官幣社にして、元弘の忠臣名和長年を祀る、境内往々焦米を出だす

大神山神社は、大高村（大山字尾）の西南にあり、國幣小社にして、大己貴命を祀る、其奥宮は大神山にあり

名和神社の圖

倭文神社は、河村郡舍人村（字宮）にあり、式内の名神にして、國の一宮と稱し縣社たり

長谷寺は、打吹山の西面にあり、觀音を安す、養老五年の創立にかゝると云ふ

退休寺は、八橋郡上中山村（字退休寺）にあり、僧玄翁の開基にして、正平九年の創立なり

安養寺は、會見郡五千石村（字福）にあり、元弘中瓊子内親王の建立し給ふ所にして親王の墓あり、境内齒形果を産す

橋津の馬山は、天正の役、吉川元春雌雄を決せし砦たるを以て著はる

倉吉城址は、打吹山にあり、山名師義の據りし所、此間古城尤多し

久米城址は、米子町湊山にあり、舊藩池田氏の支城にして、吉川氏の經營せし所なり

汗入郡に逢坂（古は大坂に作る）の港あり、下市川の口に當る、後醍醐天皇著御の地なり、小祠あり隱岐神塚と云ふ

會見郡膳桝山の麓に赤猪石あり、天津村（大字清水川村）に蚶貝比賣蛤貝比賣を祭る、土人之を於婆御前と稱す、皆神世の遺蹟たり

郡面積

郡名	面積
河村郡	方里分厘 一六五三
久米郡	一六一一
八橋郡	九六八
汗入郡	一〇六四
會見郡	一四〇八
日野郡	三一七四

郡役所管轄區域

郡名	郡役所々在地
久米郡	
河村郡	倉吉町大字仲町
八橋郡	
汗入郡	米子町大字巷橋町
會見郡	
日野郡	二部村大字二部備

鳥取ヨリ都邑至八里程

都邑	里	丁	間
米子町	二五	一七	二三
倉吉町	一三	三三	二九
境町	三〇	〇三	四一
淀江町	二三	〇九	四二
泊村	九	一三	四六
長瀬村	一一	二六	〇七
由良村	一四	一六	一八
赤崎村	一七	〇三	四四
御來屋村	二一	〇一	四八

海面ヨリノ高サ	山名	山ノ高サ	河川ノ長サ	河名	河ノ長
	大山	五八〇〇尺		日野川	二〇、〇〇〇里丁
	大倉山	二、八八〇		天神川	八、一八
	船上山	?		加勢蛇川	四、一八
	美徳山	?		佐陀川	四、〇〇
	蛭山	?		阿彌陀川	三、〇〇
	三平山	?		甲川	三、〇〇
	勝田ヶ山	?			

文部省検定濟
明治廿八年三月廿七日

明治廿七年三月廿九日印刷
明治廿七年十月二日訂正版印刷
明治廿八年二月十六日訂三版印刷
明治廿七年四月廿四日發行
明治廿七年十月八日訂正版發行
明治廿八年三月廿日訂三版發行

版權所有

定價金拾錢

編纂者　鳥取縣私立教育會

代表者　鳥取縣下士族農商兼利会社行政村八十四番地　安藤宜昶

發行兼印刷者　大阪市東區唐物町四丁目拾三番屋敷　竹中清助

大賣捌所　鳥取市本町三丁目五十三番屋敷　山本鐵五郎